

九州大学海外派遣留学生 最終報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。 ※ 提出された情報は、海外留学HPに掲載します。(色のついた部分は掲載しません)
留学先大学名	上海交通大学 (国名: 中国)	
留学先学部名(またはプログラム名)	IMBA	
留学期間	2011 年 2 月 ~ 2011 年 7 月	
学部/学府・年次	経済 学府	2 年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	無 (期間: )	
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	1. 4年次に留学したため 2. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したいため	
	4. その他(具体的に記入)	
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?		
進路の予定	1. 就職 ( 時期: 4月から )	
前項で1と答えた方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)	帰国直後からハローワークやインターネットなどで情報収集。	
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?		
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?		
<b>1. 留学先大学について</b>		
授業(カリキュラム等)の概要について	<p>今期は下記の 8 つの科目が開講されました。各科目が月曜から金曜までの朝の 8:30~12:00 に 2 週間通して授業があり、3 週目に最終試験があります。そしてその次の週から新しい科目が始まります。</p> <p>〈開講科目〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Corporate Finance</li> <li>・ Multinational Strategic Management</li> <li>・ Data Model and Decision</li> <li>・ Macroeconomics and Public Policy</li> <li>・ Managerial Accounting</li> <li>・ Operation Management</li> <li>・ International Marketing</li> <li>・ International Business Low</li> </ul> <p>私は上記から 6 科目を履修しました。</p>	

<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p><b>【語学面】</b> 週一回 IMBA 提供の中国語クラスがある。私はそれ以外にも大学の言語学院が開講している語学留学生向けの中国語コースを受講。(週二回 半年で約3,000 元)</p> <p><b>【勉学面】</b> 図書館は朝 8:30～21:00 まで。パソコンが設置されており、無線 LAN も利用可能。</p> <p><b>【精神面】</b> 特に大学のサポートはないが、トラブルがあれば大学事務所にて対応可能。</p> <p><b>【住居・生活面】</b> 大学の寮に居住。学外でアパートを借りている留学生もいた。食事については朝・昼・晩、学食を利用することができる。また、学校の回りにはコンビニ、スーパー、レストランも充実しているので利便性は高い。</p>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>上海交通大学は中国においてトップクラスの学校であり優秀な学生も多い。IMBA の学生は英語が非常に堪能でクラスでも積極的に発言していた。</p> <p>教授陣については、外部の講師を中心に構成されており、外国人講師(アメリカ)による講義もあった。</p> <p>大学に対応については、交換留学生の受入が多いため、日常的な手続き等(成績確認、必要書類の依頼等)については比較的スムーズであった。日本語が非常に堪能な職員もあり、困ったときにはいろいろと助けてもらった。</p> <p>但し、中国語しか解さない方もいるので、適宜筆談などが必要。</p> <p>60 名のうち中国人学生 40 名、正規留学生 5 名、短期留学生 15 名で、留学生の国籍はさまざまだったが、特にドイツとフランスが多かった。</p>

<p>同じ大学への留学を希望する人たちへのアドバイス</p>	<p>中国人学生も留学生もとにかく英語が堪能なので、事前にしっかりと英語を身につけていくことが必要。日本に関心を持っている先生方が多く、授業中によく日本のことを尋ねられるので、日本の社会や市場、企業などについては勉強しておいた方が授業中困らない。</p> <p>グループタスクが多く、課題の量もかなりあるが、各国の学生と協力して作り上げていく達成感がある。</p>
--------------------------------	--

## 2. 事前手続き(ビザ申請など)

<p>ビザの種類</p>	<p>Fビザ</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>中国領事館</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>パスポート 証明写真 JW202 表と入学許可書オリジナル(留学先大学発行)、コピー各一枚 査証申請表</p> <p>上記書類を準備し領事館にて手続きを行う。</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>申請後3日程度(土日祝日を除く)</p>
<p>その他必要な事前手続き</p>	<p>留学生課および所属学府への報告書類提出</p>

## 3. 日常生活

<p>日常生活の概要、感想</p>	<p>上海の人々は外国人に慣れているらしく、私が外国人であることが分かったと、簡単な中国語で丁寧に対応してくれた。また、価格帯の高いレストランなどは、英語が通じる。  年輩の方は面倒見のいい方が多く、街中でも見ず知らずの方にいろいろと助けていただいた。  食事に関しても中国各地の料理や、西洋料理、日系レストラン(吉野家やサイゼリアなど)があり、全く困らなかった。</p>
<p>生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)</p>	<p>生活費計 60000 円/月</p> <p>(生活費内訳)住居費: 30000 円、光熱水料: 0 円、通学費: 0 円、食費: 20000 円、電話代: 1000 円、インターネット代: 0 円、書籍代: 1000 円  その他:(具体的に)</p> <p>学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) 円  (徴収された費用の名目を具体的に: )</p>
<p>日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)</p>	<p>PC、薬。</p>
<p>これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス</p>	<p>スリが多いらしいので、かばんのファスナーは必ずしめ、体の前に持つこと。  ポケットに携帯などを入れているとすられる可能性大。</p>
<p>お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。</p>	<p>中国元1000元と日本円10万円を持参。  上海到着後、中国銀行に口座を作り、円から元にかえたお金を預けた。  そのお金がなくなったあとは PLUS マークのある ATM で、福岡銀行のアレコレカードを利用し引き出していた。(ATM は学食にある。)</p>
<p><b>4. 住居、生活環境</b></p>	
<p>住居の種類(○印をつける)</p>	<p>・寮</p>

住所／ 電話番号	上海市番禺路955号207室
費用(月額)	75元(日額)
どのようにして見 つけたか	大学からの紹介
次期留学生に推 薦できるかどう か、およびその理 由。	シャワー、トイレが共同で、シャワーの水温が低かったのが辛かったが、 守衛さんがいるのでセキュリティ面は安心。
留学生を送る上 で次期留学生に 伝えたい地域情 報、生活情報	日本料理店にはたくさんの日本語フリーペーパーがある。

#### 5. 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト

サイト名	URL	コメント
CTRIP	<a href="http://www.ctrip.com/">http://www.ctrip.com/</a>	中国の旅行代理店サイト。中国国内の航空券、ホテルの予約 ができる。(英語もあり)
ぐるなび	<a href="http://www.chainavi.jp/china/index.html">http://www.chainavi.jp/china/index.html</a>	

#### 6. その他の特記事項

